

# OPEN THE NEW GROUND

高島屋史料館  
リニューアル  
オープン記念展  
第1弾

# ひ 世 界 を ら ら く

〔第Ⅰ部〕  
海を渡った美術染織品

高  
たかしまや  
飯田呉服店



〔第Ⅱ部〕  
室内装飾からインテリア事業へ

高  
たかしまや  
飯田呉服店



志ヲ広大ニシテ、  
世界ノ人ヲ得意トシテ商売セヨ



2020年  
1月20日[月]—4月5日[日]

[第Ⅰ部] 1月20日[月]—2月24日[月・休]

[第Ⅱ部] 2月29日[土]—4月5日[日]

開館時間 = 10:00-17:00 (入館は閉館30分前まで)

夜間特別開館 = 2月7日[金]、3月27日[金]は20:00まで開館

会場 =  
高島屋史料館  
企画展示室

休館日 = 火・水曜日  
※1月21日[火]、22日[水]は開館  
[入館無料]

高島屋史料館

Takashimaya Archives

高 Takashimaya

【第Ⅰ部】

海を渡った美術染織品



■高島屋タグ付  
輸出用キモノ  
明治時代  
京都服飾文化  
研究財団蔵

明治という新しい時代に二代新七は呉服商のかたわら外国との取引を開始。その跡を継いだ三代・四代新七により発展した貿易事業。そこには、初代新七の「志を大きくして、世界を相手に商売せよ」という言葉がありました。



輸出したキモノ100年余りの時を経て里帰り展示が実現!

1月20日[月]  
2月24日[月・休]

高島屋史料館リニューアルオープン記念展 第1弾

# 世界をひらく OPEN THE NEW GROUND

幕末の京都で小さな古着木綿商として創業した高島屋は、新しい時代=明治を迎えた時、時代を先取るふたつの新事業に乗り出すことで大きく成長しました。ひとつは、京都の染織や刺繍の技術を駆使した室内調度品(壁掛、額、屏風、衝立など)を製作し、海外へ輸出した貿易事業。いまひとつは、段通店(敷物の店)開店を契機として、皇居造営にあたり装飾織物御用をつとめるまでになった装飾事業です。文字通り、新しい世界をひらいた高島屋。いまだ知られざる創業からの歩みをご紹介します。

※本展は会期をI部・II部に分け、展示作品・資料を大幅に入れ替えて構成します。■は第I部、■は第II部に展示します。

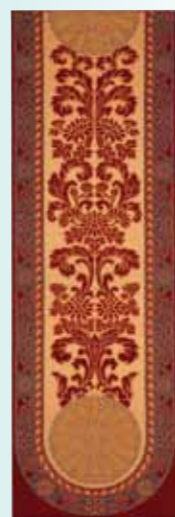


日本人の生活の洋風化を見すえて段通店を開店後、装飾織物の製造販売をはじめた高島屋。やがて、皇居造営御用をつとめるなど、時代と共に拡大し続けた装飾事業は、現在もグループ企業に受け継がれています。

大阪・堺の段通王が手がけた明治の敷物



■堺段通蟹牡丹文(摺込) 明治時代 個人蔵



■明治宮殿柱隠試織 明治時代

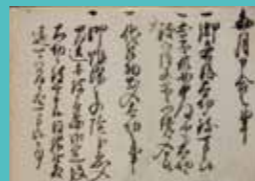
1831(天保2)年正月、初代飯田新七は妻の秀と2人で、京都烏丸松原の地に古着木綿商「高島屋」を開きました。間口約4.5m・奥行約15.8mの小さな店舗での創業でしたが、やがて京の呉服商として名を連ねることになりました。



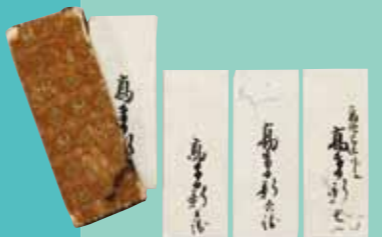
■初代飯田新七



■英字名刺 明治時代



■初代飯田新七日記 1861(文久元)年



■初代飯田新七名刺 幕末~明治時代



■金地草花文屏風 大正時代



■パリ万国博覧会 賞牌 1900(明治33)年

《世界三景 雪月花》 修復完成記念



■《ロッキーの雪》山元春挙 1905(明治38)年



■《ベニスの方》竹内栖鳳 1904(明治37)年



■《吉野の桜》都路華香 1903(明治36)年

【第Ⅱ部】  
室内装飾からインテリア事業へ

2月29日[土]  
4月5日[日]



■迎賓館 赤坂離宮 (1974年改修竣工) 「花鳥の間」のものと同型の椅子



■《朝光富士》松尾敏男 歌舞伎座観帳原画 2012(平成24)年 株式会社永谷園ホールディングス蔵



会場=多目的ルーム  
定員=30名(先着順)  
※参加無料、要申込み

- 1 講演会「高島屋 明治期の輸出染織品について」  
講師=廣田 孝氏(京都女子大学名誉教授)  
■2月1日[土] 14:00~15:30
- 2 講演会「人が主役のインテリア・陸と船舶」  
講師=館野 羊一氏(インテリアプランナー、元高島屋建築事業本部設計部室長)  
■3月1日[日] 14:00~15:30
- 3 学芸員によるギャラリートーク  
■会期中の第2・第4土曜日13:00~(約30分)  
※お申込み不要、開始時間までに企画展示室にお越しください。

①②いずれも当館HPよりお申込みください。詳細は当館HPにてご案内します。



リニューアルオープン記念展として、様々な切り口から高島屋の歴史をひとく4回シリーズの企画展です

- 第2弾 美をあきなう  
■2020年4月18日[土]~7月6日[月]  
I部:美術部の創設 II部:アートの百貨店
- 第3弾 愉快的「まち」をつくる  
■2020年7月18日[土]~11月1日[日]  
I部:百貨店、誕生 II部:百貨店はワンダーランド
- 第4弾 モードをつむぐ  
■2020年11月14日[土]~2021年2月28日[日]  
I部:きもの美、創造と継承 II部:華ひらくファッション



会場=多目的ルーム

- 特別講演会 「絵画修復の技術と素材」  
【こつてー世界三景の修復を中心にー】  
■2月8日[土] 14:00~15:30  
■講師=宇佐美 直治氏 (修復師、(株)宇佐美修徳堂代表取締役)  
■定員=30名(先着順)  
※参加無料、要申込み  
当館HPよりお申込みください。詳細は当館HPにてご案内します。
- 修復映像公開 「永遠に咲くー《吉野の桜》」  
■約20分  
2年間に及んだ修復に密着したドキュメンタリー映像
- 修復道具特別出陳  
刷毛や刀など修復に用いる道具を展示



# 2020(令和2)年1月、 高島屋史料館は 新しく生まれ変わります。

高島屋史料館は、1970(昭和45)年、株式会社設立50周年記念事業の一環として、高島屋東別館(大阪・浪速区日本橋)に開館しました。創業以来、企業活動の中で蓄積されてきた資料を収集・保存し、広く公開・活用していくことを目的としています。また、企業の歴史をひも解き、その精神や文化を受け継いで、未来の百貨店のあり方を考えるタカシマヤ・アーカイヴス活動の拠点でもあります。

収蔵資料は約5万点。美術品、百貨店資料、創業家文書など、多種多様なジャンルにわたります。このたび開館50周年を迎えるにあたり、皆様と高島屋とのコミュニケーションスペースとして、新しく生まれ変わります。

## 【高島屋史料館・施設のご案内】

### 企画展示室

さまざまなテーマを設定した企画展を年4回開催。

### 多目的ルーム

シアター、イベントなど多目的に使用するフレキシブルスペース。

### ミニ ライブラリー

百貨店に関する書籍閲覧コーナー。情報コーナーを併設。

### 高島屋 コレクションボード

高島屋史料館が厳選したコレクション700点余りを大画面で鑑賞。

### 高島屋 コレクション データベース

コレクションボードで公開中の資料をさらに詳しく知るコーナー。

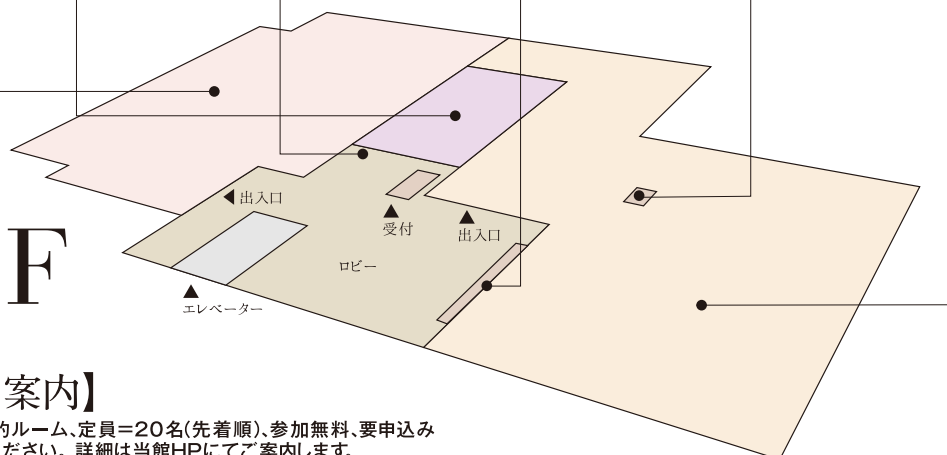
### アーカイヴス 展示室

高島屋の歴史と百貨店文化を知る資料+デジタル展示。随時展示替。

お気に入りの選べば、解説プリントサービスも。

高島屋東別館

# 3F



## 【イベントのご案内】

※いずれも会場=多目的ルーム、定員=20名(先着順)、参加無料、要申込み  
当館HPよりお申込みください。詳細は当館HPにてご案内します。

### 連続講座(年6回) 「古文書が語る 高島屋の歴史 1」

■2020年3月8日[日]  
■14:00~15:30

創業家文書を題材に、当館研究員が古文書(くずし字)の基本的な読み方を解説しながら、高島屋の歴史を読み解きます。

### 百貨店文化を知るワークショップ 「風呂敷ワークショップ」

■協力:宮井株式会社  
■2020年2月9日[日]  
■14:00~15:30

高島屋は呉服店時代より、ふくさや風呂敷を取り扱ってきました。日本人の生活になじみ深い風呂敷について学び、包み方とカバン作りを体験できるイベントです。

### 東別館建物ツアー

■2020年2月23日[日・祝]・3月22日[日]  
■1日2回開催(10:30~12:00、  
14:00~15:30)

登録有形文化財・高島屋東別館の見どころを映像とガイドツアーでご案内します。



【アクセス】 南海電鉄・大阪メトロ「なんば駅」、近鉄・阪神「大阪難波駅」より徒歩約10分  
近鉄・大阪メトロ「日本橋駅」5・10番出口より徒歩約8分  
※専用駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

【住 所】 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3-5-25 高島屋東別館3階  
TEL. 06 (6632) 9102



<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/>